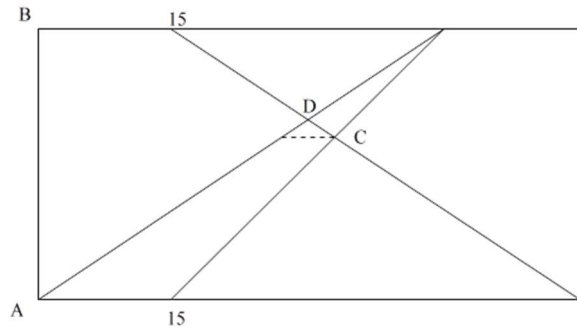


算数オンライン塾 2 月 16 日の問題解説

(1) 右図で、花子さんと太郎君の速さの比が 3 : 2 ですから、C は $AC : CB = 3 : 2$ のところにいます。右図の点線の長さが求める時間ですから、 $15 \times \frac{2}{5} = 6$ 分

(答え) 6 分前



(2) 豊子さんと太郎君がすれちがったところを D とすると、D から C まで太郎君は 2 分 40 秒かかるのに対して、D を豊子さんは太郎君と花子さんが出会う 6 分前に通過しているので、C から D まで豊子さんは 6 分 - 2 分 40 秒 = 3 分 20 秒かかります。したがって、豊子さんと太郎君の速さの比は $160 : 200 = 4 : 5$

(答え) 4 : 5

(3) 太郎君 : 花子さん = 2 : 3 太郎君 : 豊子さん = 5 : 4
から 太郎君 : 花子さん : 豊子さん = 10 : 15 : 8
A から B までかかる時間の比は 花子さん : 豊子さん = 8 : 15

その差の 7 が 15 分ですから、花子さんは $15 \times \frac{8}{7} = \frac{120}{7}$ 分かかるので、太郎君は

$$\frac{120}{7} \times \frac{3}{2} = \frac{180}{7} = 25\frac{5}{7} \text{ 分}$$

(答え) $25\frac{5}{7}$ 分